

第2回CASE研究会 WEBセミナー

参加無料

(事前申込制)

「新しいクルマのかたちと モビリティの多様化」

令和2年 **10月2日(金)** 13:30~15:50

次世代自動車支援センター埼玉では、自動車産業のメガトレンドであるCASE (Connected、Autonomous、Shared & Services、Electric) やMaaS (Mobility as a Service)を、県内企業のビジネスチャンスに結びつけるため、昨年度から「CASE研究会」を発足して活動しています。

今回のWEBセミナーでは「新しいクルマのかたちとモビリティの多様化」をテーマに、超小型モビリティやグリーンスモールモビリティといった「新しいクルマ・モビリティ」や、全国各地で実施されている実証試験についての最新情報をお届けします。

開催概要

■形式 WEBセミナー(ライブ配信)

※Zoom社のWEBミーティングシステムを使用したセミナーです。
Zoomは「無料」で使用できます。
ただし、インターネット接続の通信料金は参加者負担となります。

■日時 令和2年10月2日(金)

- 13:30~13:40 主催者挨拶、趣旨説明
- 13:40~14:40

【講演1】「グリーンスローモビリティの価値と将来展望」

公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団

交通環境対策部 部長 圓山 博嗣 氏

＜概要＞ 高齢化する地域社会において、公共交通の衰退による移動困難が顕在化している。交通エコロジー・モビリティ財団は、2016年より地域の端末交通としてのグリーンスローモビリティの可能性に着目し、普及推進に向けた調査・研究を重ねてきた。2018年から国交省等と連携し全国各地で実証実験を実施し、2019年には国による5年間の車両購入補助事業も始まった。本講演ではその内容を紹介し、グリーンスローモビリティを含めた将来のモビリティを展望する。



- 14:50~15:50 (※14:40~14:50は休憩時間)

【講演2】「“低速電動モビリティ”について」

株式会社シンクトウギャザー 代表取締役 宗村 正弘 氏

＜概要＞ 高齢化社会、環境保全、観光振興などの社会的課題に対して、弊社は「低速電動モビリティ」の導入を提案している。高速・大量移動への社会ニーズに正対するが、地域社会では「のんびりゆっくり」「和気あいあい」をテーマとした人間味溢れる乗り物を求める、新たな時代が到来している。
本講演では新しいモビリティの一端を担う「低速電動モビリティ」を詳解する。



■定員 90名(募集期日:令和2年9月25日(金)) ※定員に達し次第、申込を締め切ります。

■申込方法 以下の公社ホームページの申込フォームからお申込みください。

<https://www.saitama-j.or.jp/seminar/case1002/>



↑こちらのQRコードからも
お申込みいただけます。

【お問い合わせ】 公益財団法人埼玉県産業振興公社 新産業振興部 IoT・技術支援グループ
〒338-0001 さいたま市中央区上落合2-3-2 新都心ビジネス交流プラザ3階
TEL 048-621-7051 担当 西野